

確実性をより確かに

解剖用縫合糸



今まで使われていた10号絹糸は医療用糸として高価でした。一方、解剖用として売られているものは安価ではあるものの麻糸が混ざっていたため、糸通しが優れないことや縫合後に体液が糸に滲むものでした。死体解剖資格医、病理医、臨床検査技師の意見や提案を随所に取り入れています。

弊社では、特別に縫合糸を生産します。4本撚り糸で綿とナイロンを混紡することで、コラーゲン系（絹糸）特有の溶けが無く、浸出液が滲みが少なく、糸通りが良いものを製造販売しています。性質は絹糸に近いとも言えます。

硬質絹糸より柔らかく、反りが起こり難く、縫合箇所の裂きが抑えられ、審美的に影響を及ぼしません。腐乱死体や病理遺体・通常固定・Thiel法・SSS法で固定した遺体に対して、組織への応力が掛かりません。解剖用具の専門会社として開発し、医療用糸の品質に近いま金額を抑えることに成功しました。



使用法のポイント；100円ショップで売られている、縦型キッチンペーパースタンドを使用すると違い易いです。

■ 解剖用縫合糸

解剖用縫合糸10号
製品番号：GRADE-SSK10
色：ナチュラル
重量：約500グラム巻き

販売単位：1巻きから
販売価格は営業販売員まで。

偽造品・模倣品対策事業製品

製造販売元



有限会社川尻工業

理化学技術課 官庁公共システムグループ

〒003-0835 札幌市白石区北郷5条4丁目10番13号

電話 011-875-3172

FAX 011-875-3181

詳しくはホームページで <http://www.kawajiri-kogyo.jp/>